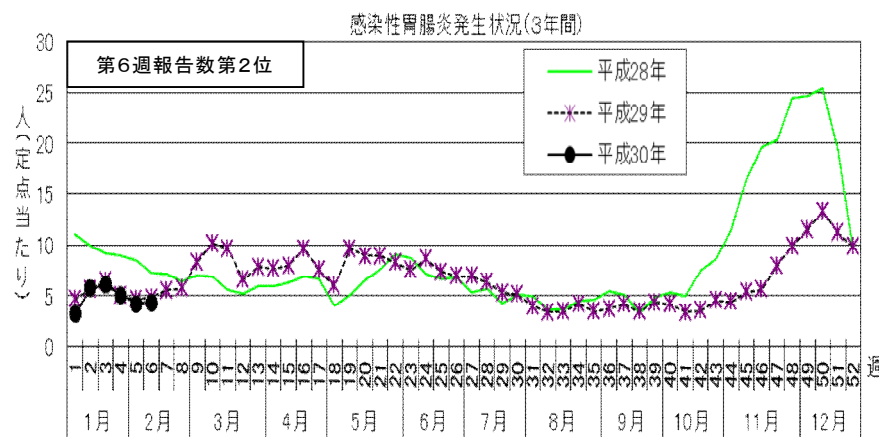
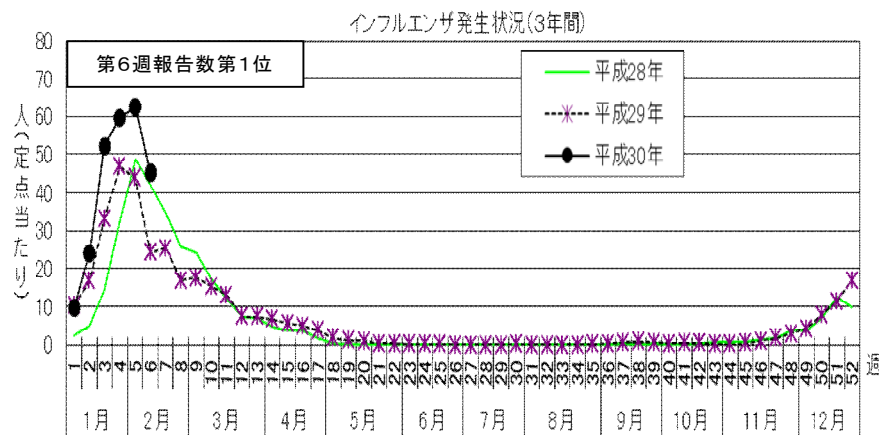


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成30年2月5日（月）～平成30年2月11日（日）〔平成30年第6週〕の感染症発生状況

第6週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は45.26人と前週（62.43人）から減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.32人と前週（4.24人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.54人と前週（2.38人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



知っていますか？～百日咳～

百日咳は、百日咳菌を原因とし、とまりにくい咳発作を特徴とする急性感染症です。かつては小児に特有の疾患でしたが、ワクチンが導入され、近年では小児に比べ成人での報告数が増加しました。成人では症状が典型的でないため、病院への受診や診断が遅れることもあり、ワクチン未接種の乳児への感染源となります。軽症でも菌の排出があるため、咳等の症状がみられる場合は早めに医療機関を受診しましょう。

百日咳とは？

感染経路：咳やくしゃみ等による飛沫・接触感染

潜伏期間：7～10日

症状

かぜ症状で始まり、咳の回数が増え程度も激しくなるカタル期（1～2週間）の後、短く激しい咳が連続して起こり、続いて笛の音のような音が出る咳発作を繰り返す痙咳期（3～6週間）を経て回復します。

*免疫が不十分な1歳以下（特に6か月未満）の乳児が感染すると、死に至る危険性があります。

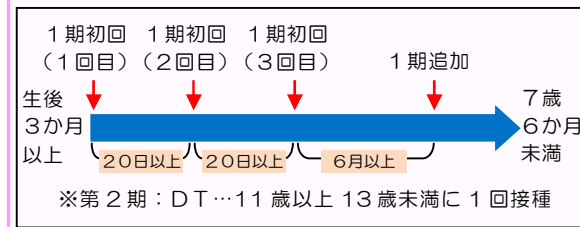
治療方法

適切な抗菌薬での治療により、服用開始から5日後には菌はほぼ陰性となります。

予防方法

◆ワクチン接種

・ジフテリア、百日せき、ポリオ、破傷風（第1期：DPT-I PV）の標準的な接種スケジュール



百日咳菌の感染力は強く、免疫のない家族内接触者の発病率は80%以上といわれています。感染を広げないために、咳エチケット（マスク着用等）が重要です。